

RA協議会第3回年次大会@徳島 学際研究プロジェクト創成へのアプローチ

「UECコミュニケーションサロンの紹介」

藤井 弘樹

(電気通信大学 研究戦略統括室 URA)

電気通信大学の概要

設立：1918年（社団法人電信協会管理無線電信講習所が起源）

所在地：東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 専任教員：約310人、学生数：約4,800人

学部：情報理工学域

大学院：情報理工学研究科（H28年度から1研究科）

理念 人類の持続的発展に貢献する知と技の創造を目指します。

経営戦略

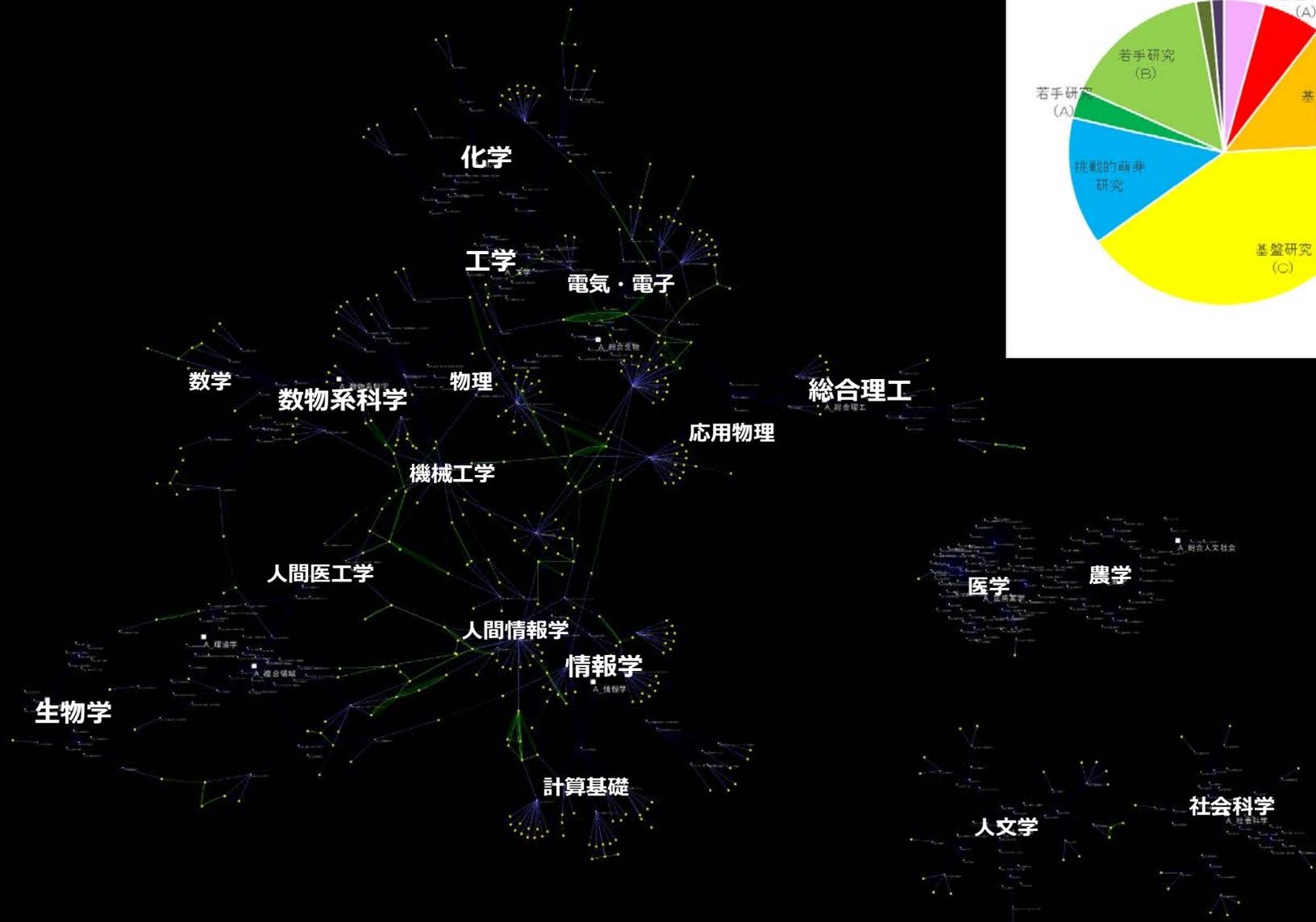
1. 知のボーダーレス化
2. 連携と協働
3. 開放性と透明性



UECビジョン2018

既存の学問分野、既成概念にとらわれない境界・融合領域の学問分野を創造することを目指し、人や自然、社会、人工物との間の情報・エネルギーなどのすべての相互作用を広く“コミュニケーション”と捉える「総合コミュニケーション科学」を推進している。

科研費の分野と学内分担関係



科学研究費:研究種目別採択件数



UECコミュニケーションサロンの企画

○はじめに

UECコミュニケーションサロンは、**異分野融合・学際研究プロジェクト**の創成を目指していますが、学内の研究者の「交流の場」であり、**まだまだプレ・プレの段階**です。

○なぜ「交流の場」を提供しようと考えたか

現状として、

- ✓ 科研費など外部資金獲得プロジェクトを見ると、小規模（個人型）の研究プロジェクトが多く、大型のものは少ない。
- ✓ 研究者同士もお互いの研究のことをあまり知らない。
- ✓ URAも研究者のことを十分に把握しているとは言えない。

（研究者情報などで何となく研究内容はわかっているが、接点のない研究者もいる。）

UECコミュニケーションサロンの企画

○URAには大型研究プロジェクトの企画立案が求められている

が、トップダウンで課題設定して、研究者にプロジェクトへの参加を依頼しても協力してもらえるのか・・・

○「交流の場」を提供することで

- ✓ 研究者同士のコミュニケーションが活性化し、相互理解を深めることで、新たな連携が生まれる。
- ✓ URAも研究者とのコミュニケーションを密にして、研究者の「人となり」を理解し、信頼関係を構築することで、研究者に協力してもらえるようになる。

ことを期待して、「UECコミュニケーションサロン」を企画した。

URAとしては、「交流の場」としてだけではなく、多くの研究者が関心のあるテーマや、異分野連携をしている研究者、これから活躍しそうな人など、URAが今後支援したい人に声を掛けるためのツールにもしたいと考えた。

UECコミュニケーションサロンの概要

UEC Communication Salon COMPASS

異分野研究者の交流の場

学内コミュニケーション・プラットフォーム



【コンセプト】

先端科学と持続可能な社会のためのコミュニケーション・プラットフォームとして、創立100周年を盛り上げ、総合コミュニケーション科学の世界的教育研究拠点を目指すUECの羅針盤となる。

COMPASS (COMmunication Platform for Advanced Science & Sustainable society)

【開催趣旨】

「総合コミュニケーション科学の教育研究拠点」、「Unique & Exciting Campusの具現化」を実現するためには、学内のコミュニケーション活性化、学内の人的資源を最大限に活用していくことが必要です。「ネットワーク型URA」として、異分野研究者、事務職員、URAを含む学内のネットワーク基盤を構築し、相互理解を深め「誰が何を知っているのか」を共有し率直（FRANK）なコミュニケーションがとれる気軽に参加できる“場”を提供する。

- ✓ 学内プレゼンターによる最近の研究紹介・話題提供 & 交流会。
- ✓ 発表は、異分野の人にもわかりやすく、シンプルに。デモ大歓迎。
- ✓ 異分野ならではの素朴な質問、連携提案を歓迎。



UECコミュニケーションサロン開催状況

UEC Communication Salon COMPASS

異分野研究者の交流の場

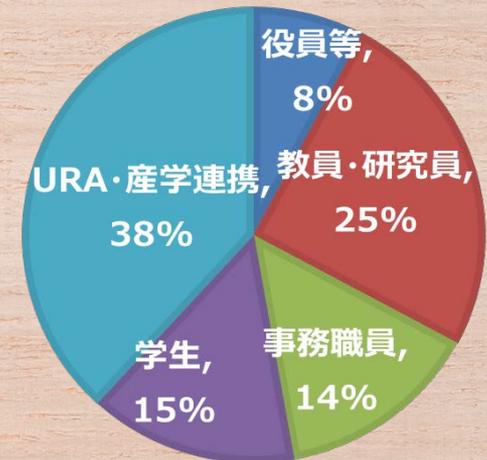
学内コミュニケーション・プラットフォーム



【開催状況】

回	テーマ/プレゼンター
1	「総合コミュニケーション科学とUEC」 (梶谷学長顧問)
2	「つながりが創発する”知”/人工知能」 (栗原教授)
3	「日本の科学技術と大学はどう変わるか/科学技術基本計画」 (山本准教授)
4	「センサネットワークによるスマート農業」 (佐藤教授)
5	「ナノ立体構造、健康エネルギーバランス」 (庄司准教授、大河原准教授)
6	「ディープラーニング×画像処理×高次元データ駆動科学」 (庄野教授)
7	「超高感度電子分光装置で見えないものを見る」 (山北准教授)
8	「物理 × 人工知能 × エネルギー学を融合した分野横断型研究」 (曾我部准教授)
9	「データが拓く新しい制御の世界—データ駆動制御」 (金子教授)
10	「異分野融合研究国際会議 The Irago Conferenceの紹介」 (Sandhu教授)

参加者の内訳
(延べ参加者数 411名)



<http://www.ura.uec.ac.jp/compass/>

学際研究プロジェクト創成に向けて

- ✓ UECコミュニケーションサロンは、異分野融合・学際研究プロジェクトの創成を目指していますが、学内の研究者の「交流の場」であり、まだまだプレ・プレの段階である。
- ✓ サロンに参加してもらい対話することで、研究者の「人となり」を理解することはできる。研究者同士、研究者とURAなどの「人のつながり」はできている。
- ✓ 交流の場を提供するだけでは、学際研究プロジェクトの創成にはたどり着かないので、今後、より具体的な課題を設定してワークショップなどを開催していきたい。
(具体的な支援内容や支援制度の構築はこれから)